

広域避難を知ろう。

広めよう。

広域避難とは、浸水しない市外の安全な場所へ避難することです。

私たちは水害時、親戚や知人宅への避難、ホテルなどの宿泊施設への避難、公的な広域避難先への車中避難などを検討する必要があります。

なぜ、在宅避難や近くの避難所への避難ではなく、広域避難が求められるのでしょうか。

問合せ 防災危機管理課へ

正しく知ろう 水害特集

広域避難シミュレーション動画を公開中



北摂豪雨から数十年たった20XX年7月9日、ついに恐れていたことが起こる...

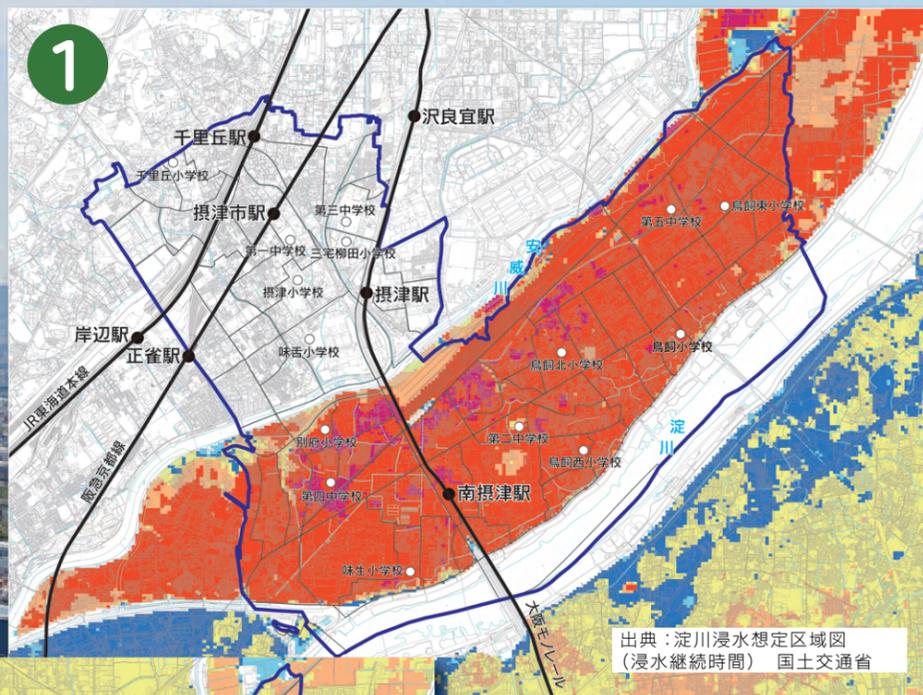
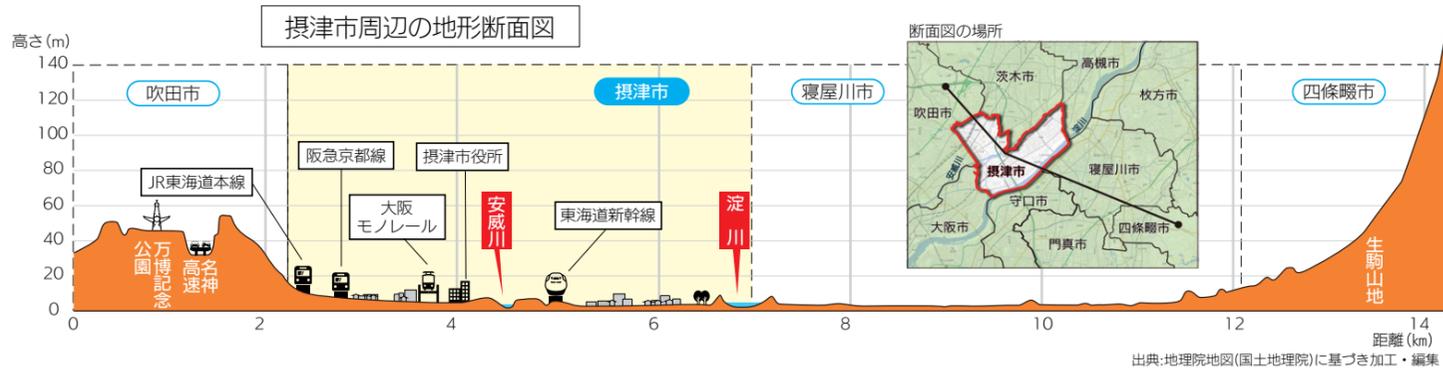
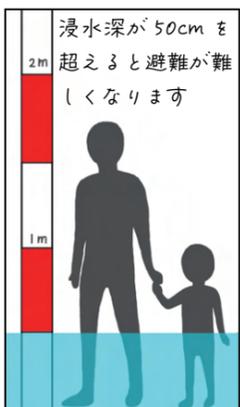
浸水継続時間とは

右記のマップは、①は淀川が、②は安威川などが大雨によって水があふれたときの「浸水継続時間」を示しています。浸水継続時間とは、大雨のときに堤防が決壊し、水に浸かった状態が続く時間の目安です。厳密には、避難が困難となる50cmを超える高さの浸水が継続する時間のことを示しています。

淀川が氾濫すると、安威川以南のほぼ全域で1〜2週間水が引かない状態が続きます。また、安威川などが氾濫すると、安威川以南に加え、以北でも長期にわたって浸水するエリアがあります。

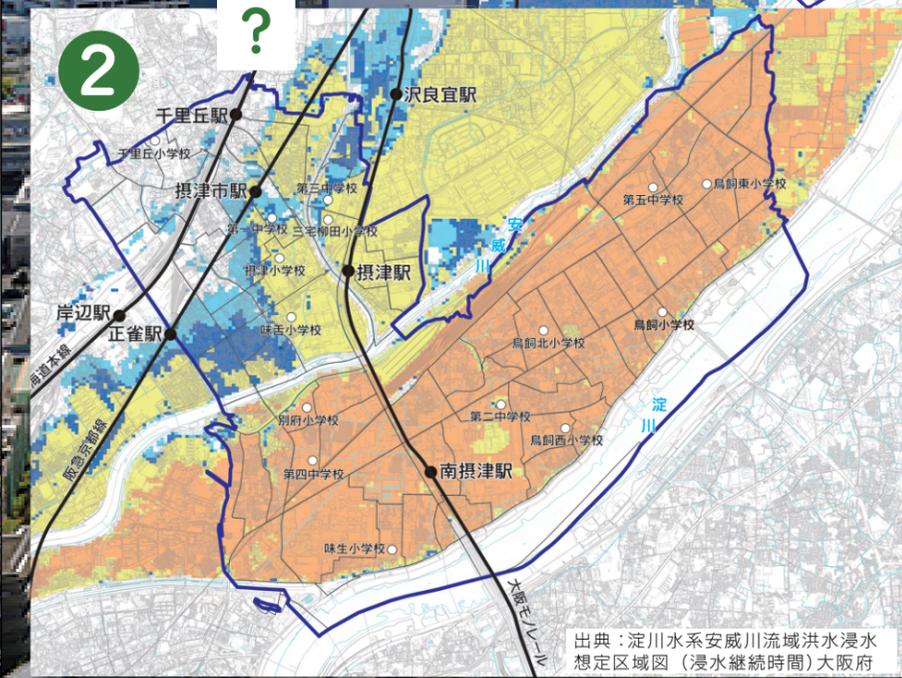
浸水しやすい摂津市

下の断面図を見ると、摂津市は平坦かつ低い土地に位置していることが分かります。また、市内には6つの河川が流れているため、ほとんどの地域が水に浸かります。市民約8万6千人のうち、水害時に避難が必要な人は約6万2千人。一方で、市内の避難所の収容可能人数は約5千500人にとどまっています。



出典：淀川浸水想定区域図（浸水継続時間）国土交通省

これらのマップが何か分かりますか？



出典：淀川水系安威川流域洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）大阪府

凡例

浸水継続時間	
Light Blue	12時間未満の区域
Dark Blue	12〜24時間(1日)未満の区域
Yellow	24〜72時間(3日)未満の区域
Orange	72〜168時間(1週間)未満の区域
Red	168〜336時間(2週間)未満の区域
Purple	336〜672(4週間)未満の区域
Blue outline	町丁目境界
Thick blue outline	市境界

在宅避難はリスクが伴う

「避難するのは大変」「住み慣れた場所が過ごしたい」「食料のストックがあるから大丈夫」と避難をためらう人もいるかもしれません。しかし、在宅避難には、さまざまなリスクが伴います。

▼エアコンが使えない

エアコンなどが使えないことで室内の温度が調整できず、過酷な環境下での滞在を余儀なくされます。

▼電話やテレビが使えない

これらの手段で連絡を取り合うことや災害情報を取得することができなくなり、孤立してしまいます。

▼ごみ出しができない

トイレの水を流せないことで排泄物がたまり、停電で冷蔵庫内の食材が腐ってしまいます。このように通常には発生しないごみが発生します。室内で保管しなければならず、衛生環境が悪化します。



▽市内には、これら3つの河川のほか「山田川」「正雀川」「境川」が流れる



あなたの自宅は川の水があふれたらどうなりますか？

次のページで、あなたの自宅の被害想定と避難方法を考える「私の広域避難カルテ」を作成してみましょう。

このカルテは、昨年度に鳥飼北小学校区で開催した広域避難についてのワークショップで使用しました。カルテの作成を通して、自身の避難行動を見直しましょう。

私の広域避難カルテ作成の流れ

STEP 1

STEP 2

STEP 3

STEP 4

まずは正しい情報を確認する前に、**あなた**の**考え**を「私の広域避難カルテ」のSTEP1に書いてみてください。分からない部分は想像で構いません。

まずは書いてみるんだわ。私にもできそう。



正しい情報を確認し、「私の広域避難カルテ」STEP2に記入しましょう。浸水深・浸水継続時間の確認には「防災ブック」や「浸水ナビ」を利用してください。

「防災ブック」はこちらから



正しい情報を踏まえて、もう一度**どのよう**に避難するかを「私の広域避難カルテ」のSTEP3に書いてみてください。

改善策の一例

- ▷ 浸水しない避難先を検討する
- ▷ 避難先までの交通手段を変更する
- ▷ 避難のタイミングを早める



作成した「私の広域避難カルテ」をもとに、家族や地域の人たちと、災害時の対応について話し合い、**適切な避難行動**をとることができるように備えましょう。
マイ・タイムライン※の作成など、より詳細な避難行動を計画しましょう。

※マイ・タイムラインは、命を守るために一人ひとりが時系列で考える防災行動計画のことです

私の広域避難カルテ

あなたの情報を記入してみましょう

	STEP 1 ～今の状態～	STEP 2 ～処方箋～	STEP 3 ～改善案～
① 自宅周りの浸水深と浸水継続時間	m 日 時間	m 日 時間	
② 避難する・しない ※しないと答えた人は【STEP2】へ	する (避難先:) しない		する (避難先:) しない
③ 避難先の浸水深と浸水継続時間	m 日 時間	m 日 時間	m 日 時間
④ 避難先までの交通手段	車・バス・電車・徒歩 その他 ()		車・バス・電車・徒歩 その他 ()
⑤ 避難先までに要する時間 市民が「万博記念公園」へ一斉に避難した場合にかかる想定時間はここから	時間 分	時間 分	(想定) 時間 分
⑥ 避難のタイミング 例 「公共交通機関が動いているうちに」「注意報が発令されたら」「安威川の水位が〇〇mに達したら」			

「浸水ナビ」を使って浸水深と浸水継続時間を確認しましょう



▷ 浸水深が0.5m以上となった時間(A) : 時間
▷ 浸水深が0.5m未満となった時間(B) : 時間
▷ (B)-(A) = 時間
カルテの①③「浸水継続時間」へ記入しましょう。



水害も地震も 備えることが大事!

備え編

1 備蓄品

最低3日間分(できれば1週間分)の水や食料、携帯トイレを備えておきましょう。

●目安

水 1日1人 3L

食料 日ごろ食べ慣れているものを多めに買ってストックし、消費した分を補充しましょう。

携帯トイレ 1日1人5回分

2 非常用持ち出し袋

備蓄品とは分けて、発災時に瞬時に持ち出せるように避難所で必要な物も備えておきましょう。重くて大きな荷物は避難の妨げとなります。必要なものだけをリュックなどに入れ、玄関に準備しておきましょう。

●主な注意点

持ち出し用の水は、500mlを1~2本が目安です。また、薬を服用している人は7~10日分の薬とお薬手帳も備えておきましょう。

3 災害時のごみの出し方

市では、昨年8月に「災害時のごみの出し方ガイドブック」を含む「摂津市災害廃棄物処理計画」を策定しました。

いつ発生するか分からない災害に備えて、「災害時のごみの出し方ガイドブック」をご確認ください。

問合せ 環境業務課へ

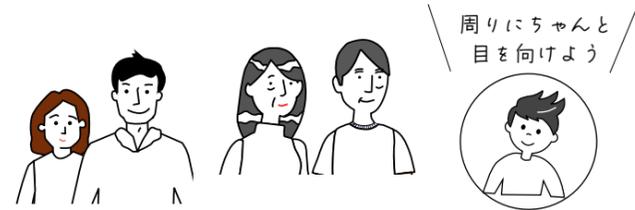
「摂津市災害廃棄物
処理計画」
はこちらから



4 支援などを必要とする人の存在を知る

高齢者、難病患者、障害者、外国人など、災害時に自ら避難することが困難な人たちがいます。

災害が起こったときは、地域での声かけや避難の支援、遅れて避難してくる人への避難スペースの確保など、譲り合い、助け合いを心がけましょう。



皆さんに 取り組んでほしいこと

摂津市で暮らす皆さんが水害時の避難を考えるうえで、重要なポイントが2つあります。

「市内の多くの地域が浸水する」ということ、そして「摂津市の外に出ないといけない」ということです。

市内には淀川・安威川などが流れており、川があふれた時に被害を受けるということは、全摂津市民にとって他人事ではありません。**一人ひとりが広域避難を検討し、いつ避難するか、地域みんなでルール作りを進める必要があります。**

摂津市防災アドバイザー
香川大学創造工学部
竹之内健介准教授



「キタッピ
あんしん
マップ」は
こちらから



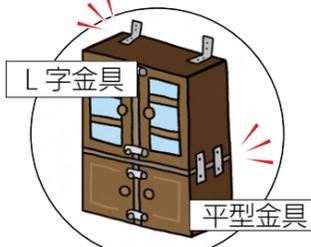
ワークシヨップを開催
昨年度は、鳥飼北小学校区で「地域の広域避難を考える〜大水害に備えて〜」と題したワークシヨップを開催しました。幅広い年齢層の人が参加し、前のページで紹介した広域避難カルテや、街歩きを通して、地域の避難マップ「キタッピあんしんマップ」を完成させました。これから市と一緒に、広域避難の取り組みを進めていきましょう。

5 今すぐやろう! 家具の固定

複数の固定器具を併用するとより安心です。



耐震効果 ★★★★★



耐震効果 ★★★★★



耐震効果 ★★★★★



耐震効果 ★★★★★

●レイアウトの工夫

▶背の高い家具を減らす

なるべく据え付けの収納スペースを活用しましょう。

▶避難経路の確保

家具が倒れたり、移動したりすることでドアがふさがらないよう工夫しましょう。

●家具の固定

家具だけでなく、テレビや冷蔵庫、電子レンジなどの家電も固定しましょう。

●スリッパの準備

ガラスの破片が散乱する危険もあるため、脱衣所や寝室には履き物を備えておきましょう。

いざという時に
備えて登録を



摂津市
LINE公式アカウント



おおさか防災ネット



大阪防災アプリ

レベル3・4で 必ず避難を



レベル1



レベル2



レベル3



レベル4



レベル5

災害発生危険度

警戒レベルを知る
警戒レベルは、避難のタイミングを考える上で有効な情報です。
水害については、5段階の警戒レベルで情報を提供します。警戒レベルは、テレビの「dボタン」などから手軽に確認できます。避難を判断する1つの基準としてください。
さまざまなツールから情報を取得しよう
日頃から情報が取得できるよう、それぞれの操作を確認しましょう。
▽防災行政無線
▽市ホームページ
▽市公式LINE
▽おおさか防災ネット
▽大阪防災アプリ
▽携帯電話の緊急速報メール・エリアメールでの配信など

情報編